

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みつばあ児童 フォーム

公表日 年月日 令和7年1月20日

利用児童数 年月日 令和6年12月1日 45名 回収数 22枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		4		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				2	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1				
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	1	1	9		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1		6		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2		6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	22					

令和7年1月20日

平素は、当事業所に、ご支援・ご協力を賜りまして、こころより感謝もうしあげます。今年もスタッフ一同心ひとつにしてお子さんの支援に邁進してまいりますので宜しく願いいたします。

新一年生で当事業所に入所頂きました折には、小学校という新しい環境と、みつばでの慣れない環境から不安定になり、涙されたり、痲痺になったり、落ち着かない日々が続いておりましたが、2学期を過ぎたころには、自分の中でやりたい事がはっきり発信できるようになり、様々な活動にも挑戦できるようになられています。

特に運動施設でのお子さんの様子は、出来る事が沢山増えて、見違えるほどに成長されています。学校でも「運動がよくできようになっている」と評価され、褒められたと伝えて頂いたお子さんもいらして、頼もしく感じます。

最後まで諦めることなく前向きに挑戦される姿に誇らしく想い、成長が観てとれることに、みつばちとして、こんな嬉しいことはございません。これも保護者さまのご支援・ご協力があればこそと、心より感謝いたしております。ありがとうございます。

さて、先日はお忙しい処、評価表にご協力頂きましてありがとうございます。集計ができましたので送付させていただきます。

HPでも好評いたしておりますので、ご覧頂きますようお願いもうしあげます。

今後も、皆様方のご意見を真摯に受け止めて、お子様・ご父兄様・みつばちの三者が心を一つにして尽力してまいりますので宜しく願いいたします。

評価表の配布件数	45件
提出いただきましたご家庭	22件
未提出のご家庭	23件

1.

22件「スペースが確保されている」と解答を頂きました。ありがとうございます。

ご意見として

* 2階、4階と分かれており、お子さんの気分にあわせたスペースで対応していただいています。

* 4階の運動スペースが広々としてとても良いです。

* 運動のスペースが広く、思い切り走り回れる。

* 活動スペースが小さい事業所が多い中、みつばちは、十分にあるとおもう。

ご意見を頂きまして有難うございます。

いつでも見学して見て頂けるように施設を開放いたしておりますので、気軽にお声をお掛けください。

2・

17 「はい」を頂きました。

ご意見として

*子供が先生と関わる際に、他の教員の方が、機転を利かせて関わりをもてるようにしてくれた。

*丁寧な支援ができていますので、配置ができていないと感じている。

1件 「どちらともいえない」がありました。

ご意見として

*外出などで、移動支援で利用したいときに利用できない時がある。

*無解答が1件ありました。

4件 「わからない」がありました。

ご意見として

*把握できていません。

*職員の適正人数がわからない。

配置人数は適切がどうかわからない、把握できていない・移動支援が利用できないなどのご意見を頂きました。有難うございます。ご説明させていただきます。

職員の配置状況・配置人数は、日々のお子さんの利用人数により変動し、国の法令基準に合わせた職員体制で支援しています。

(お子さんの利用人数により、8人から12人の職員で常駐体制を整えています。)

移動支援については、移動支援希望者が多い場合、出向く場所によっては、低学年のお子さんについては安全確保のため、お断りする場合があります。ご不自由をお掛けして申し訳なく思っております。また放課後デイサービスに際しても、利用規定人数を超過しますと、支援スタッフがおりましてもご利用ができません。ご迷惑をお掛けいたしております。ご了承くださいませ。(出向く場所によっては、安全確保のため、低学年のお子さんは、室内での活動に振り替えてご利用頂く場合もございます。誠に申し訳なく思いますがよろしくお願いたします。)

3.

20件 「はい」を頂きました。有難うございます。

ご意見として

*「とても分かりやすい環境と思う。」

1件 「どちらともいえない」とのご意見を頂きました。

ご意見として

*「バリアフリーに対応した環境が分かりません」

玄関入口はスロープで室内はバリアフリーになっており、手摺については、以前、車イスのお子さんがご利用されている時に、当保護者様との相談から「手摺があるとかえって危険である」とご意見を頂きました。トイレ介助についても、今は、手すりが必要な身体介護を要する方はいらっしゃいませんので、総合的に考慮して、「手摺はなし」での対応にいたしております。今後、不都合が生じてくるような事があれば検討させていただき事になっております。よろしく願いいたします。

4.

21件

「はい」を頂きました。

ご意見として

*みんなと居る場所、少人数でいれる場所等、沢山あり、過ごしやすいです。

*毎日職員と子ども達で掃除がおこなわれており、清潔に保たれていると思うと頂きました。 ありがとうございます。

お子さんが帰宅された後にも、職員が残り、一斉清掃をします。掃除機をかけて次亜塩素酸ナトリウムを希釈して机ふきや床モップかけ掃除、トイレ、洗面所にいたるまで、清潔な環境を提供し、活動に適した空間を構築しています。

1件

「わからない」を頂きました。

ご意見としては無解答でした。

5.

21件

「はい」を頂きました。 ありがとうございます。

ご意見として

- *一人ひとりに応じた支援がされていると感じます。
- *こどもに苦手な部分をサポートして頂いています。
- *こどもの特性に応じた支援をしてくれます。
- *各々の性格を理解し、よりよい支援をしてくださっています。
- *丁寧な支援で満足しています。

1件

「どちらともいえない」を頂きました。
ご意見として
無解答でした。

今後もお子さん一人ひとりに応じた適切な支援ができますように、職員一同研鑽を積み、今以上に努力したいと思えます。ありがとうございます。

6・

20件「はい」を頂きました。ありがとうございます。

- ご意見として
- *あっています。
- *子供の気分などにも配慮して柔軟に適切に対応してくれます。
- *適切だと感じている。

1件

「どちらともいえない」をいただきました。
ご意見は無解答でした。

1件

「わからない」を頂きました。
ご意見は無解答でした。

支援プログラムに沿った支援内容で遂行し、実際、実施した内容も写真にして各ご庭に配信していますので一目でわかるようにしています。

支援プログラムや支援プログラム明細は、HPでも公開して、実施している療育の目的や効果的意義なども日々の活動で公表しています。

支援プログラムは、事業所でも検討した内容で進めていますが、基本、お子さん・親御さんからの要望をお聞きして作成しております。

お子さんの意見・希望なども含めてニーズにあったものを可能な限り取り入れますので、療育相談の折やリトム、ライン、みつばちノートなども活用頂きご意見をお聞かせください。今後も引き続き宜しくお願いします。

7.

22件「はい」を頂きました。有難うございます。

ご意見として

*びっくりするほど支援計画は合っていて、よく理解していただいているのだとおもいます。

*強く感じます。

*とてもあっていて感心させられます。

*満足しています。

8.

18件「はい」を頂きました。有難うございます。

ご意見として

*適切な支援内容が設定されていると感じます。

*適切に設定してくれています。

*支援計画が具体的な支援内容になっている。(因果関係が分かるような内容になっている)

2件 「わからない」を頂きました。

ご意見は無解答でした。

1件 「無解答」がありました。

契約時の折に要望を聞かせて頂きニーズにあった課題を探り、方針・問題提起・方途・検証内容を支援計画に組み入れてきました。お子さんのご利用回数によっても異なりますが、利用の少ないお子さんについては変化の原因がどこにあるのか分かりにくい場合と、顕著に表面化してはっきりしている場合がございます。半年毎のモニタリングは勿論のこと、日々の活動内容をリトムや写真、みつばちノートなどでお知らせし、お子さんの日々の様子から課題や支援内容、アセスを明確にして検討の上、個別支援計画を作成いたしております。今後共よろしく助言、ご協力をお願いいたします。

9.

20件「はい」を頂きました。

ご意見として

- *丁寧な計画立案で、それに沿った支援が行われていると感じます。
- *支援計画が具体的な内容となり、よく子供を理解していただいた内容で支援されていると思う。
- *納得いく計画になっていて、支援に結びつけてもらっています。

1件「どちらともいえない」がありました。

ご意見として

- *無解答でした。

*契約時の折に要望を聞かせて頂きニーズにあった課題を探り、方針・問題提起・方途・検証内容を支援計画に組み入れてきました。又、半年毎に保護者様とお子さんにモニタリング、アセスメントをさせて頂き、又、支援計画前の職員会議での内容を総合的に検討し、支援計画（案）、支援計画を作成します。内容に納得いただけたら署名いただき、それに沿った内容で支援をさせて頂いています。

作成できた個別支援計画については、一部が保護者様に、一部は相談事業所に、一部がみつばちで保管いたしております。

ご多忙なところ、半年毎のモニタリングやアセスメントなどに、ご協力いただきますことを心より感謝いたしております。今後共、よろしく願い申しあげます。

10,

21件「はい」を頂きました。

ご意見として

*色んなプログラムが用意されており、子供たちがあきることなく楽しめている。

*工夫されていると思う。

*いつも色んなプログラムがあつてありがたいです。

1件「どちらともいえない」を頂きました。

ご意見としては

無解答でした。

プログラムは、事業所で検討した内容で進めていりますが、基本、お子さん、親御さんからの要望をお聞きして作成しております。

お子さんの意見・希望なども含めてニーズにあったものを可能な限り取り入れるようにしています。

療育相談の折や、リトム、ライン、みつばちノートなども活用頂き、ご意見をお聞かせください。今後も引き続き宜しくお願いします。

11,

11件

「はい」を頂きました。

ご意見として

*他の学校のお子さんや他の放課後デイの事業所のお子さん等も参加して、ダンスやクイズ等で楽しんだときいている。

*他校のお友達とみつばちでも交流をしている。

*地域や他の放課後デイとの交流の機会があった。

*ワークショップでの交流があったが参加しなかった。

*運動会と重なり参加できなかった。

1件

「どちらともいえない」を頂きました。

ご意見として

無解答でした。

1件

「いいえ」を頂きました

ご意見として

無解答でした。

9件

「わからない」を頂きました。

ご意見として

*児童館はどうか分からない。

*交流の機会はあまりないと感じています。

10月に保護者様の主催で、(うさみみ会)地域の学校のお子さんや、他の放課後デイの事業所のお子さんなど、みんなでのダンスワークショップが、天理で開催されました。また高田で、11月に屋台村が開催され、保護者とお子さんで参加いただく旨をチラシでもって、ラインでもお知らせいたしておりました。今後も、みつばちと、保護者様、お子さんで一緒になって参加できればと考えます。沢山の方との活動の場が持てるようにと、支援プログラム、及び、明細書にして詳しくご案内いたしておりますので、これを機会に、来年こそは、ご参加いただ

きまして、みんなでの交流を楽しんでいただけたらとおもいます。
ご多忙とは存じますが、よろしく願いいたします。

1 2,

2 1 件

「はい」を頂きました。

ご意見として

*説明がありました。

*丁寧な説明がありました。

*説明を受けました。

*十分な時間をとって説明していただき、ありがたかったです。

1 件

「どちらともいえない」

ご意見として

無解答でした。

今後の当事業所運営にも活かしてまいりますのでご遠慮なく忌憚なご意見をお知らせくださいませ。よろしく願いいたします。

契約時に説明させて頂き、又、毎月の「支援プログラム」「利用申込書」にも金額を毎回、記載しておりますが、不明な場合は都度お答えさせて頂く体制も整えておりますので、ご不明点がございましたら遠慮なく申し付けくださいませ。収支報告もさせていただきます。

外食やお買い物など異なった料金となり、個々で収支報告もさせて頂く等、お家の方にも釣銭の確認をお願いしています。今後ともよろしく願いいたします。

1 3,

2 0 件

「はい」を頂きました。

ご意見として

*説明がありました。

*丁寧な説明がありました。

2 件

「どちらともいえない」があり、

ご意見として

計画書をいただき、そのことについてお話しはしていませんが、十分な内容でした

ので、納得しています。

1件は無解答でした。

モニタリングやアセスメントの折に、継続希望の保護者様にはそのままの内容で、引き続き、継続させていただいており、その上で、内容の確認を保護者様にお願いして署名を頂いております。都度、変更がありますと、(案)作成時にも検討頂き、訂正箇所や追加箇所などもご検討いただき、話し合いの上、修正して計画書を作成しておりますが、説明不足や不明瞭な点などがございましたら、遠慮なくお伝えください。従来と同様に、支援計画の内容に基づいて、療育を進めていますので、よろしくお願いいたします。

14

15件

「はい」を頂きました。

ご意見として

*ペアレント・トレーニングのお知らせを頂き参加することができました。

6回まであり、今まで問題に直面していても、深く考えていなかったことに気づくことができました。とても良かったと思う。

1件

「どちらともいえない」を頂きました。

ご意見として

無解答でした。

6件

「わからない」を頂きました。

*おこなわれているかもしれませんが分かりません。

*あるのか分かりません。

無解答もありました。

夏に奈良市で開催し、各ご家庭にもご案内をさせて頂いております。

今年も、ご案内をいたしますので、ご多忙とは思いますが、時間が許す方は、ご参加いただき、障がいについての悩み事等も共有して、精神的な負担の軽減につなげて頂ければ幸いです。決して一人で抱えこまず、同様の苦悩をお持ちであることで寄り添えることも多いと感じておりますので、今後もよろしくお願いいたします。今回は、ロールプレイなどもあり、声掛けの仕方や、行動の観察や分析、問題行動の背景にはどんな問題を抱え、その時の心がどうであったか？好ましい行動を増やすにはどうしたらよいか？などをトレーニングから学んでいかれたよ

うです。

15.

21件

「はい」を頂きました。

ご意見といたしまして

*面談もしていただきますし、なにがあればすぐ連絡いただいています。

*いつも連絡するとすぐ対応して頂けます。

*細かく共有してくださっていると感じます。

*密な連絡が取れていると思っています。

1件

「どちらともいえない」を頂きました。

ご意見として

無解答でした。

その日の健康状態や発達についての心配事など、日頃から、リトムやみつばちノート、ラインで、情報の共有をさせて頂いております。

みつばち到着時に検温させて頂き、その日の体調や、又、活動中にも異変がございますと、ご家庭には早急に、電話やラインでご報告をさせて頂いております。

日々の活動の状況なども、写真や動画で成長の過程を毎回配信し、安心に繋げていけるように実施しています。今後も、密に連絡をとり情報の共有をいたしますので、よろしく願いいたします。

16

20件

「はい」を頂きました。

ご意見として

*強く感じます。

*行われている。

*相談しています。

*いつでも対応してくれています。

2件

「どちらともいえない」を頂きました。

ご意見として

無解答でした。

定期的に面談のご案内などもいたしておりますし、心配事など、いつでも対応いたしておりますので、気兼ねなくお伝え頂きますようによろしくお願いたします。

17

19件

「はい」を頂きました。ありがとうございます。

ご意見として

*とても有難いです。

*共感的です。

*良かったところを最初に伝えてくださいます。

1件「どちらともいえない」を頂きました。

1件「わからない」を頂きました。

ご意見として無解答でした。

数多くの事業所がある中で、大切なお子さんを当事業所にお預け頂き、ご利用頂くことに感謝しかございません。有難うございます。深く御礼をもうしあげます。

日々の活動の中で、お子さんが前むきに頑張ろうとされる姿勢を、保護者様が一番に理解し、励まし勇気づけてくださることに、スタッフ一同御礼申し上げます。

今後も、お子さんや保護者様からも「みつばちを利用してよかった。」と言ってもらえるように、スタッフ一同、皆さんの気持ちに寄り添っていきたいと思います。よろしくお願いたします。

18,

12件

「はい」を頂きました。

*もっとあってもよいと思う。

*案内や支援があっても参加できていない。

2件

「どちらとも負えない」がありました。

ご意見として

無解答でした。

6件

「わからない」がありました。

*利用して日が浅いこともありわからない。
保護者同士の交流の機会については把握していません。

昨年は、例年のような、バーベキューや講演会での保護者様の会合は開催できませんでしたが、うさみみ会や屋台村、みつばち内部（土曜日などのイベント）には、ご家族様に参加いただきますように、イベント明細でご案内いたしておりました。今年も、ご多忙とは存じますが、2月15日土曜日に先生をお招きして、飾り巻き寿司を親子でつくります。出来たお寿司を食して頂きながらご兄弟や保護者様同士の交流もします。皆さん方で、お誘い頂きまして、少しでも多くに方が参加いただきますようお願いいたします。詳しくはイベント明細をご覧くださいと幸いです。

19,

20件

「はい」を頂きました

ご意見として

*適切に対応できているとおもう。

*されています。

*迅速に対応してくれる。

1件

「どとらともいえない」

ご意見として

無解答でした。

困りごとや心配事などいつでもお受けできるように、ラインやリトム、みつばちノートなどをご利用頂き、都度、対応させていただいております。療育相談も定期的に行っていますので、いつでもご相談いただける体制は整っておりますので遠慮なくお伝えくださいませ。

又、苦情の場合でも気軽にご相談いただけるように個々に対応させていただきます。用途に応じて相談員さんを含めてケース会議を開催し説明、周知をして迅速に解決できるようにしております。又、障害福祉課にもご相談いただける体制も整えています。よろしく願いいたします。

20、

21件「はい」 頂きました

ご意見として

*ラインで様子を知らせて下さるため、安心です。

*ラインのやり取りが細かくされている。

*みつばちでの様子をラインで送信されるのがよい。楽しみにしています。

1件 「どちらともいえない」がありました。

ご意見として

無解答でした。

リズムやライン、みつばちノートなどで日々の様子をお知らせいたしております。また、困りごとや心配事などいつでもお受けできるように、ラインやリズム、みつばちノートなどで、都度、対応させていただいております。療育相談も定期的に行っていますので、情報の開示や伝達などもいつでも可能です。ご相談いただける体制は整っておりますので遠慮なくお伝えくださいませ。

21

22件 「はい」を全員に頂きました。有難うございます。

ご意見として

*こまめにHPを更新されており、いつも楽しみにしています。

*HPの更新も早く、行事予定も1か月以上前に知ることができている。

定期的に HP は更新して、ラインでも各ご家庭にお知らせいたしておりますので、ご覧いただければ幸いです。活動概要や行事予定、連絡体制の強化及び、自己評価表の結果も HP や郵送にて書面で公開いたしておりますので確認お願いいたします。

22

18件「はい」を頂きました。

ご意見として

*そう感じます。

2件「どちらともいえない」

ご意見として

みつばち以外に写真などの情報がもれないか心配している。

みつばちから配信された写真を、保護者さん自身が、他に写真を流さないか心配している。

2件「わからない」

ご意見として

*HPは、お顔がかくしてくれているが、他の情報（書類）がどうなっているかわからない。

個人情報については外部に情報が漏洩しないように契約時に意向をお聞きして

書面で残し厳守しています。

内部ラインにはお顔や学校の名札などで名前が出ることもありますが契約日に説明の上、許可も頂いていますが、その後変更がありましたら遠慮なく申し付けください。外部に出る情報には名前、お顔、学校名など漏洩厳守しておりますが、不都合がある場合は、遠慮なくお伝えください。

個人情報についてご心配事のある場合は、お気軽にいつでもお声をお掛けくださいませ。

(皆さんからいただきました、書面での情報は、各個人のケース記録に保管して、外部に持ち出すことも禁止し、スタッフ以外は見ること、他に公開することはありませんのでご安心ください。

写真や動画の配信は、スタッフと保護者様のみ利用可能な携帯で、他には一切使用できません。保護者様とスタッフ以外の他には、配信できないものになっています。)

23,

18件 「はい」を頂きました。

ご意見として

*契約時に書類にして頂き説明を受けました。

*契約時に頂きました。

*実施されていて、ラインで知らせてくれる。

*動画でも送信されて、訓練がよく分かる。

4件「わからない」を頂きました。

*実施されているとおもいますが、詳しく把握できていません。

無解答もありました。

契約時の書類にしてお渡しいたしておりますので、再度確認お願いいたします。実施した内容は動画やHPでも配信していますのでご覧ください。

支援イベントや明細にも実施する日程を公開いたしておりますのでご覧頂きますようお願いいたします。

24

16件

「はい」を頂きました。

ご意見として

無解答でした。

6件「わからない」を頂きました。

ご意見として

多分されているとおもいます。

災害訓練につきましては本来、定期的に年に2回内部で、外部でも年に1～2回実施しています。是非ご参加頂きますようお願いいたします。

(定期的に支援プログラムや明細にも記載させていただいておりますように、

災害や交通安全のビデオを見て、問題意識の向上に繋がっています。実際に訓練もいたし、各家庭にもラインやHPでお知らせし、公開もいたしておりますので、是非参加してほしいと思います。

又、外部に出掛けて防災の意識を深めていただけるように、奈良防災センター・大滝ダムや橿原消防所や大阪下水道科学館などに出向いてきました。今年は、3月1日(土)に、あべのタスカル大阪市防災センターに出向き、防災の学習をいたします。支援プログラムでもお知らせいたしますので、参加いただきますようによろしくをお願いいたします)。

25

21件「はい」がありました。

ご意見は無解答でした

1件「わからない」がありました。

ご意見は無解答でした。

安全確保のための内容については、契約時に、保護者様には、緊急に連絡が取れる連絡先の徹底、契約書、重要書類や別にマニュアルもお渡しいたしておりますので、再度確認をお願いいたします。また、あらかじめ支援体制を構築し支援者の人数の確保や分担などの役割体制も整えて事務所にも掲示いたしております。また、事故や怪我が

あった場合にも、すぐ保護者様に連絡いたし、状況が分かるように写真や動画などでも見て頂けるようにしています。

26

20件

「はい」を頂きました

ご意見として

*怪我をしたときは、必ず連絡をくださいます。

1件

「どちらともいえない」を頂きました。

ご意見として

*今まで、事故がなかったので「そうともいえない」に○をつけました。

1件 「らからない」を頂きました。

ご意見として

無解答でした。

27

21件

「はい」を頂きました。

ご意見として

*安心できる場所と認識しています。

*すきな先生もできたようで、いつもニコニコで通ってくれる。

*もう大きくなってきたし、どんな感じで、行ってるのかとも思いますが、小さいお友達とのコミュニケーションもみつばちで学んだ事であり、本人も、とても楽しみにしているのです、本人のオアシスのように感じているみたいです。

1件

「どちらともいえない」がありました。

ご意見として

無解答でした。

28

20件 「はい」を頂きました。

ご意見として

- * 毎回どんな事を今日はするかとプログラムを書き写したカレンダーを見て喜んでいきます。
- * 「楽しかった？」と聞くと毎回「うん」といいます。特にガチャガチャが出来る日は、張り切っていきます。
- * プログラミングが大好きで、他にも色々させてもらえるので喜んでいきます。
- * 「今日はみつばちで何をやるんー？」と聞いてきてくれます。
- * たのしみに通っています。
- * もう大きくなってきたし、どんな感じで行ってるのかとも思いますが、小さいお友達とのコミュニケーションもみつばちで学んだ事であり、本人も、とても楽しみにしているので、本人のオアシスのように感じているみたいです。

2件 「どちらともいえない」ありました。

ご意見として

* 「家でゆっくり過ごしたい」ということが増えてきた。

後の1件は無解答でした。

29

22件 「はい」を頂きました。

* 大変満足している。

* もう大きくなってきたし、どんな感じで行ってるのかとも思いますが、小さいお友達とのコミュニケーションもみつばちで学んだ事であり、本人も、とても楽しみにしているので、本人のオアシスのように感じているみたいです。

* 家族では出来ない様な体験を通して他人との関わりを勉強させてもらい満足している。

* 通所させて頂けて本当のありがたく思っています。

* 色々なプログラムで子供が飽きないように工夫して頂きありがとうございます。

* 不安定な時にお声をかけていただいたり、様子を知らせて頂いたり、アドバイスもありがとうございます。感謝しています。

お子さんによってはその日の体調、気分もあり仲の良いお子さんがいないとつまらないこともあるとおもいます。また何をやるにも自信がなく日々に不安を感じているお子さんもいらっしゃいます。同年代のお友達も大切にし、

年代の異なったお友達や集団だからこそ上下関係、おもいやり、やさしさ、社会性等も育めたりします。学校なら同年代のお子さんの付き合いになり顔見知り、それもとても良いことですが、みつばちは年代の異なるお子さん、異なる学校で知らない者同士でも仲良くできるように社会で快適に過ごせる訓練の最初の間と考えております。又、「どちらとも言えない」「いいえ」「わからない」などの解答を頂いた方が一人でもいらっしゃる事を肝に銘じて、行き届かない処を真摯に受け止め、より良い支援にしたいとおもいますので今後もご支援ご協力をお願いします。

アンケート調査にご協力頂きありがとうございました。
今後ともご指導・ご鞭撻宜しく申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	公表 事業所における自己評価結果				
事業所名	みっばり児童ファーム				
				公表日	27 年 1 月 20 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	13			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16			
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16		
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16			
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13			
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16			
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14			
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	16			
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		16		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16				

事業者向け自己評価表

令和6年度分

- 1・広々としたスペースで活動ができているが15名で「いいえ」が1名ありました。
意見として
解決や改善すべき点として
*曜日により利用者が多いので。
これに対して
改善策→2Fも4Fも施設内部は広いので、今後、部屋の使い方など工夫し、検討したい。

- 2・適切であるが15名でした。「いいえ」が1名ありました。
改善策→加配の配置はできていて、利用者が多いときは、1名から2名多く配置していますが、今後、療育内容により支援の在り方を工夫していきたい。

- 3・「はい」が15名でした。
いいえが1名ありました。
意見として
ビル1階の入り口が階段なので車いすの利用者が利用できない。
改善点→階段横にスロープがあるので車イスをバックにして利用している。
前方からは急斜になっているため、後ろ向きで利用する。

- 4・5
毎日、活動後はスタッフが居残りし、全部屋の掃除をします。清潔が確保できるように、又、同時に、次の療育がスムーズに遂行できるような整理、整頓、準備などの体制も整えています。障がいに合わせて個別の利用が可能な部屋の環境、準備や、療育別に分割した居心地の良い部屋などが提供できるようにしています。

- 6・
毎朝・毎夕ミーティングを行い反省会で改善・継続・支援内容の周知・目標設定等を行う。不参加の人には文章とグループラインの両方で周知している。

- 7・8・9
スタッフのグループラインで周知し、毎朝・毎夕ミーティングを行い反省会で改善・継続・支援内容の周知・目標設定等を行う。不参加の人には文章とグループラインの両方で周知している。親の会の代表3名を外部評価に繋げている。

10・

昨年も専門家に依頼しZoomで職員研修を実施しましたが、保護者様を招いての講演会が日程があわず開催できませんで、今年は保護者様の要望などもお聞きして開催できるようにと検討しているところでございます。

11・

スタッフの要望や保護者やお子さんの希望・専門家の意見・他所のプログラムも参考にしてスタッフ全員で決定している。実施する1か月前にはHPや保護者様の個人のラインに配信して公表しています。

又、郵送もして、手に取って見て頂くことも可能なようしています。

12・13・14・16・38・39・41・44

年1～2回療育相談を設け個々のニーズや変化にも即時に対応できるように、又、毎回ご利用時に個々のラインに写真や動画を送信してみつばちの様子をご覧いただき、ご意見を傾聴し、共通の理解の下、適切な計画作成ができる体制を整えています。(お子さんに対する苦情や心配事等についても真摯に向き合いながら、子育ての成果が見える形で示せるようにし、安心につながるように努めている。)

又、年2回、保護者様や職員にもモニタリングを実施し、内容を明確にして支援計画前の会議での内容を検討し、目標、継続事項、検討事項(本人支援・移行支援・地域支援・家族支援)など提供すべき支援を保護者様に納得して頂いた上で、作成しています。又、相談事業所の相談員もみつばちに来社頂き、お子さんの様子や支援の仕方等、みて頂く機会を設けてみつばち、保護者様、相談員の三者が一体となって情報の共有を図り計画書作成に努めている。

15・

基本的に標準化したものを使用しますが、ご父兄様のニーズやお子さんの障がい程度により異なるものになる。

17・18・19・22

活動プログラムや支援プログラムなどは、保護者様やお子さんの要望、日々のスタッフで会議で立案し、他の事業所、専門家の意見なども取り入れながら、検討、継続、変更事項などを参考にして立案している。

障害の程度や、年齢により異なるが、平日は養護学校の低学年・地域の学校の低学年の支援級のお子さん、小学校の中・高学年～高校生等に分けた支援内容になる。(集団と個別活動内容も下校時間や障がい程度により別内容となる。)

養護学校の低学年のお子さんは下校時間も地域の学校とは異なり早くなるので単独でのプログラムになります。遊具などを利用して身体を動かし遊びの中から

無理なく発語の練習・プットインやビジョントレーニング等実施。季節に応じた
工作や 4 階の広々としたところで走り、ごっこ遊びなども兼ねて開放感やストレスの
解消なども図れるようにしている。

(ボールあそび・トランポリン・ボルダリング・ブランコ・滑り台・自転車・
シーソー・サンドバックなどで活動をする。)

地域の学校のお子さんは、学校の宿題を終了させる事から始めています。
(机上で落ち着いて座位できる習慣を付ける為)

運動を初めとし、SS を組み入れたカードゲーム、パソコンの使い方や生活に密着
したお季節に因んだ菓子料理づくり、お買い物体験、カラオケ、W i I I 訓練、専
門家から提供された創作活動（絵画・英語・習字）や体力・体幹強化などで、縄跳
び、体操教室、空手、エアロビクス等を提供している。集団活動では、ドッジボー
ル、サッカー、タグラグビー・モルック、パラバルーン、ピックルボール、ベース
ボール5 などの集団活動を通じて、楽しさの中から、ルールを理解し、協力して成
し遂げていくことの重要性を認識させ社会性やコミュニケーション力を高めてい
く。移行支援や外出支援では、地域の季節行事の催し等に参加して、人々とのふれ
あいで抵抗なく自然体で経験、体験できるようなプログラムも提供しています。
創作活動では、出来るだけ公の品評会などに積極的に提出し、お子さんの前向きさ
やる気、自信や達成感につなげ、延いては、活動の幅を広げる切っ掛けづくりをし
ている。

20、21、22

平日は午前10時～11時まで職員間で本日の支援内容の確認、検討事項等の打ち
合わせをする。

支援修了後の午後18時～本日の実施した支援内容、検討、反省、改善、継続事項
を会議に挙げて内容を記録に残し、グループラインに配信し、全職員に周知し連携
しながら支援を遂行している。

保護者様には、毎回ご利用時に個々のラインに写真や動画を送信して、事業所の様
子を都度ご覧いただき、ご意見を傾聴し多種多様な活動プログラムでの支援につな
げている。

23、24、44

年1～2回療育相談を設け個々のニーズや変化にも即時に対応できるように、
又、毎回ご利用時に個々のラインに写真や動画を送信して事業所での様子を

都度ご覧いただき、リトム（保護者と事業所共有の日々の活動記録）みつばちノート、ラインなども活用しながら、保護者様からご意見を傾聴し適切な計画作成ができる体制を整えています。又、相談事業所の相談員にも事業所に来社頂き、お子さんの様子や支援の仕方等を見て頂く機会を設けて、事業所、保護者様、相談員の三者が一体となって情報の共有を図り、計画書の作成に努めている。

（契約時の折に要望を聞かせて頂きニーズにあった課題を探り、方針・問題提起・方途・検証内容を支援計画に組み入れてきました。お子さんのご利用回数によっても異なりますが、利用の少ないお子さんについては、変化の原因がどこにあるのか分かりにくい場合と、顕著に表面化してはっきりしている場合もあり、半年毎のモニタリングは勿論のこと、日々の活動内容をリトムやライン、みつばちノートなどで記録を残し、お子さんの日々の様子から課題や支援内容、アセスを明確化し検討の上、保護者様の理解の下で、適切に見直ししながら、個別支援計画（案）個別支援計画を作成している。又、ガイドラインにのっとり4つの基本活動を組み合わせ、5領域をベースに方途を鑑みた支援内容で作成している。

25・37

同、敷地内で、まったく異なった活動が2階と4階で展開され、お子さんの状態や気分なども配慮し、最終的に保護者や本人の意思決定で柔軟に実施できるようにしている。また支援プログラムの活動内容とは別に保護者様の意向で、本児の希望を尊重した活動内容に変更し、柔軟に対応することで、やる気、前向きさ、特性、個性を育み将来を見据えた支援に繋げている。

26、27

担当者会議には、お子さんの状況を理解している職員にとどまらず、出来るだけ多くの職員と開催できるように午前中の融通の利く時間を定めて、早くから調整しながら実施できるようにしている。

28、

利用申込書と同時に保護者様より送信して頂き、不明瞭な場合は事業所からも学校に問い合わせるようにしている。突然の送迎時間の変更などで把握できずにいる場合もあり、その場合は、必ず保護者さまに連絡して再発防止に努めたり、逆に事業所のほうが、見落としとして、ご迷惑をお掛けした場合は、真摯に謝罪し、再度、行き違いが生じないように、朝に下校時間表と変更内容を確認している。

29、

事前に保護者様に、アセスメントシートに子供園の様子や就学前に利用されていた施設での様子などを記入いただき、事業所ご利用時の状況などから鑑みて、連絡を取り情報の共有をお子さんの支援がスムーズに実施できる体制を整えている。

30、

状況により、相談員さんに任せている。必要であれば、保護者様の了承を得て情報を提示する。

31

職員の支援の向上に繋げるため、専門家を招いて zoom で研修を進めて課題に着手している。

32

親の会の行事で児童館や他所の事業所、地域のお子さんたちの交流や又、他の事業所のイベントにも参加しながら交流を進めている。

33

要請がない限り参加しない。(要請があれば参加する)

34・44

年1～2回療育相談を設け個々のニーズや変化にも即時に対応できるように、又、毎回ご利用時に個々のラインに写真や動画を送信して事業所の様子をご覧いただき、リトムやみつばちノート、ラインなどから、ご意見を傾聴し、記録に残し、共通の理解の下、適切な支援に繋げている。

35

昨年は、夏頃にペアレントトレーニングをラインで写真にして案内いたしている。全過程6回あり、参加いただきましたご家庭からはとても有意義であったと、ご報告を受けている。

36、

契約時に説明も致し、書類で明確化しています。利用料金についても都度、支援プログラム明細でお伝えし、また、不明な点については都度、口頭でも対応している。

37、38、39は上部に記載済み

40

昨年は親の会のイベント開催に当事業所の活動プログラムとして組み入れました。支援プログラムには、親子で参加いただけるように、ご案内いたしていますが、中々参加いただけないのが現状です。

今年も2月15日に親子で飾り巻き寿司づくりを企画しております。保護者同士の交流

の機会も同時開催したいと考えている。

4 1 ・ 4 4

困りごとや心配事などいつでもお受けできるように、ラインやリトム、みつばちノートなどをご活用頂き、都度、対応しています。療育相談も定期的に行い、いつでもご相談いただける体制は整えている。

又、苦情の場合でも気軽にご相談いただけるように個々に対応させて頂き、内容に応じて相談員さんを含めてケース会議を開催し説明、周知して迅速に解決できるようにしております。又、障害福祉課にもご相談いただける体制も整えている。

4 2

1 か月半前からラインや郵送 HP で公表している。

4 3

個人情報については外部に情報が漏洩しないように契約時に意向をお聞きして書面で残し厳守しています。不都合が生じた場合は、即時対応します。

4 5

個人情報の漏洩の懸念やお子さんの身の安全確保などの点で保護者様や家族様、関係者、関係公共機関のみとさせていただいています。

4 6

安全確保のための内容については、契約時に、保護者様には、緊急に連絡が取れる連絡先の徹底、契約書、重要書類や別にマニュアルもお渡しいたしており周知している。事故・災害・感染防止の対策として、年に2回内部で、外部でも年に1～2回訓練を実施している。内容については、支援プログラムやプログラム明細にも記載している。

4 7

新たに令和6年4月までに業務計画を策定しそれにのっとり訓練をしている。

4 8、4 9、5 0

確認しているし、周知している。

5 1

契約時に、安全確保のためのマニュアルもお渡し、保護者様にも周知している。

5 2

事故防止のための振り返りを毎朝ミーティングで協議して防止に努めている。

5 3, 5 4

虐待防止のビデオを鑑賞して研修に努め、日々の会議で支援内容や実施内容を振り返り、記録にも残している。身体拘束しなければいけない重度障がいのお子さんのご利用がありません。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みづば幼児園		
○保護者評価実施期間	年月日 令和6年11月10日 ~ 令和7年1月20日 年月日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	年月日 令和7年1月6日 ~ 令和7年1月20日 年月日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	年月日 令和7年1月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	別紙添付	別紙添付	別紙添付
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	別紙添付	別紙添付	別紙添付
2			
3			

事務所の具体的な「強み」について

1. 運動施設でのプログラムの充実

* 多彩な運動

子どもたちが楽しみながら参加できる運動プログラムを提供することは、体力・体幹の強化だけでなく、集中力やコミュニケーション能力の向上にも役立つと考えています。

例として、(ルールを知って守る練習も含む)

トランポリン、バランスボール、縄跳び、ドッチビー、ドッジボール遊び、ボルダリング、Jボード、スケートボード、モルック、ベースボール5、ピククル、卓球、サッカー、ビリヤード、サーキットトレーニング(ラダートレーニング、こっぽり、ハードル、平均台)空手や体操教室(マット運動、跳び箱)、ヨガ、フラダンス、エアロビクス(リラクゼーションや感覚統合支援)これらの運動を楽しんでできるように、やる気や達成感、喜びに繋げるような支援をしている。

長時間の活動が苦手なお子さんも多いので、日々の活動の中で、その日の支援プログラムのほかに時間的にも余裕があるので、後の活動は、職員とお子さん達で話し合いの上で(SST)決定している。

(自己決定の場として本人の意思を尊重し、プログラムとは別メニューの活動も進めている。)

無理なく楽しんで体力・体幹強化につながるプログラムと考え、徐々に持久力や運動の楽しさを感じられるようにしている。

2. 多彩な学びのプログラム

* プログラミング

論理的思考や問題解決能力を育みます。

年齢やスキルに合わせたプログラミング教材やアプリを使用し、楽しく学べる環境を整えています。

例:簡単なブロック型やロボット操作などのプログラムで、新しい試みに意欲的に挑戦することで、発想能力の向上につながればと思っています。

* 工作・絵画・音楽・料理・手話活動

工作や絵画は手先の器用さや想像力、達成感を育んだり、テーマを設けて自由に作成する時間を設定することも、効果的と考えています。又、外部でコンクールなどに出展して入選につなげることで、喜びや自信、やる気、優越感に繋がっています。

*音楽活動(歌や楽器)は、リズム感覚や表現力を養うだけでなく、感情表現の助けにもなればと考えます。

*手話活動でも外部から先生を迎えて、楽しみながら取り組むことで、意思の疎通の大切さや、人と関わり合うことの楽しさを知って社会性やコミュニケーションの向上にもつなげていきます。

料理では、食材の触感や調理工程を通じて、美味しさや作る楽しさを知って、実生活に役立つスキルを学んでいきます。

*手品・ブロック遊び

空間認識力や構成力を養います。子どもたちが自分で何かを完成させる成功体験を通じて自信をつけることができます。

3. 社会性の向上を目指した外部活動

移行支援・外出支援

公共交通機関・施設や公園、図書館、買い物体験を通じて社会的なルールやマナーを学ぶ場を提供します。例：電車やバスを使った移動体験

電車やバスの切符の購入の仕方、乗車の仕方などで、車内でのルールやマナーを実体験で学習する。

買い物での金銭管理や店員さんとのやり取りの練習。

公園や施設で他の子どもたちとの触れ合いを通じたコミュニケーションの実践

社会ルールの認識

外部での活動に加えて、事前の「お約束」や「振り返り」を行い、社会的なルールの理解を深めます。

4. 子ども一人ひとりの特性に応じた個別支援

個別性を重視したプラン作成

子どもの興味や得意なことを活かしつつ、苦手なことへの挑戦をサポートします。例えば、工作が得意な子には、さらに難しい課題を提示し達成感を高める。

集団活動が苦手な子には、少人数グループから参加を促す。

又、その日の気分や状況も鑑みて、本人の自己決定での活動も推進し、無理なく、やる気、達成感につながるようになっている。

5. 自己肯定感の向上

多彩なプログラムを通じて成功体験を増やし、子どもたちが「できた！」という喜びを感じられる場を提供することが重要と考えています。

単なる遊びや活動の場ではなく、発達障害児が将来自立して社会に参加するための準備をする場として、運動や学び、社会体験を通じて、子どもたち一人ひとりが自身の可能性を広げていける支援を行うことがサービスの大きな強みとなっています。

工夫や意識している取り組み

1. 個別支援計画の徹底

子ども一人ひとりの特性、発達段階、興味関心を把握し、それに基づいた個別支援計画を作成・実行。

家庭や学校と相談員と連携し、保護者や相談員、学校からの情報を反映している

2. 子どもたちが安心できる環境づくり

物理的環境の工夫

静かなスペース、視覚的に分かりやすいスケジュール、温かみのある内装。

心理的サポート

「ほめる」「共感する」を基本に、安心して自己表現できる雰囲気づくり。

3. ソーシャルスキルトレーニング（SST）の導入

他者とのコミュニケーション方法や感情のコントロールを学ぶ活動を計画的に実施。

具体例：ロールプレイやカードゲームを活用して、実生活で役立つスキルを練習。

4. 多様な活動の提供

学校の宿題のサポートだけでなく、運動、音楽、創作活動、調理・手話・手品といった多彩な活動を用意。

季節ごとのイベント（夏祭り、クリスマス会など）を通じて、非日常体験を提供。

5. 自己肯定感を高める支援

小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や達成感を育む。

子どもの努力を言葉で具体的にほめる。

6. スタッフ間の連携と研修

朝夕毎回ミーティングを行い、支援方法や子どもの状況を共有。

発達障害や支援スキルに関する研修を行い、スタッフ全員のスキルアップを図る。

7. 保護者支援

保護者向けの相談会や勉強会を開催し、家庭でも支援が継続できるようにサポート。

子どもの成長を共有し、保護者との信頼関係を築く。

8. 地域社会との連携

地域の施設やイベントに積極的に参加し、子どもたちが地域とのつながりを持てるように工夫。

子どもたちが安心して成長できる場を提供し、放課後等デイサービスの価値を高めることを目指しています。

充実を図るための取り組み。

1. 個別支援計画の充実

ニーズの把握：子ども一人ひとりの特性、課題、興味を正確に把握し、支援計画に反映させる。

家族との連携：保護者とのコミュニケーションを強化し、家庭と施設での支援を一貫性のあるものにする。

目標の明確化：短期・長期の目標を具体的に設定し、達成度を定期的に評価。

2. スタッフのスキルアップ

研修の実施：障害特性の理解や、遊び・学びを通じた支援方法などの専門知識を学べる研修を定期的に実施。

資格取得支援：保育士や児童指導員などの資格取得をサポート。

コミュニケーション能力向上：子どもとの信頼関係を構築するためのスキルを強化。

3. プログラム内容の多様化

遊びと学びのバランス：体験型のアクティビティや学習支援を組み合わせる。

地域資源の活用：地域の公園や図書館、文化施設を利用し、外部とのつながりを増やす。

特別イベントの企画：季節行事や地域イベントへの参加、特別なプログラムを提供。

4. 施設環境の整備

安全で快適な空間：子どもが安心して過ごせる設備の導入。

遊具や教材の充実：年齢や障害の程度に応じた教材や遊具を用意。

清潔な環境維持：感染症予防を含む衛生管理の徹底。

5. 保護者支援の強化

相談窓口の設置：家庭での悩みや心配事に対応する場を設ける。

情報提供：発達支援や療育に関する情報を定期的に発信。

交流イベント：保護者同士が交流できる場を提供し、支え合える関係性を構築。

6. 評価と改善の仕組み

定期的なアンケート：利用者や保護者からの意見を聞き、サービスの向上に役立てる。

第三者の視点：外部機関による評価やアドバイスを受け入れ、客観的な改善を行う。

PDCA サイクル：計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のサイクルを回す。

7. 地域や学校との連携

情報共有：学校の担任や支援学級との連携を図り、教育との一貫性を持たせる。

地域ボランティアの活用：地域の人々が協力できる場を設け、支援の幅を広げる。

地域活動への参加：放課後デイサービスの存在を地域に知ってもらい、支援を受けやすい環境を作る。

事業所の弱みと課題・改善にむけての工夫点

人材不足とスタッフのスキル

課題

有資格者や経験豊富なスタッフの確保が困難である。

改善案

定期的な研修や勉強会を開催して、スタッフのスキル向上を図る。
働きやすい職場環境（勤務時間の柔軟性、福利厚生の充実）を整備。
モチベーションを高めるための評価制度を導入。

課題

欠席職員の情報共有がうまくいかないケースがあり、行き違いが生じる。

改善案

個人ラインやグループラインでの情報共有のほかに、言語でも直接伝えて意思の確認をとる。

課題

発達障害や身体障害など、さまざまな障害特性への対応が難しい。
集団行動が苦手な子どもへの配慮が不足しやすい。

改善案

障害特性に応じた柔軟な支援体制を整える（小グループ制、個別対応など）。
スタッフに障害特性の理解を深める研修を実施。
保護者や学校と協力し、子どもの特性に合わせた対応方法を共有。
スタッフのスキル向上、保護者や学校との連携強化、設備やプログラムの充実。